

老松アーカイブス

vol.4



校門を入ってすぐ左、花壇になっているあたりに、小さな石があります。十全醫院と書かれた境界石です。

1872年 横浜共立病院という名称でオープン、74年に横浜十全病院と改称されました。

関東大震災まで、この地で数々の成果をあげて、市民のために医療活動が行われていました。

震災後は浦舟町に移転し、現在の市立大学医学部に発展していきます。

この地は、震災後「復興小学校」として、コンクリートづくりの学校になり、戦時中は市役所として利用されました。

さまざまな歴史を刻む、老松の校地です。